



愛知県 安城市立安城中部小学校

安城市立安城中部小学校は、明治41年（1908年）に開校した歴史ある学校です。「日本のデンマーク」といわれていたように農業を中心に栄え、緑豊かな住み良い安城市のほぼ中央に位置しています。

2014、2015年度は、愛知県金融広報委員会から「金銭教育研究校」の委嘱を受け、「人やものを大切に、すすんで働く心豊かな中部っ子の育成」をテーマに、学校全体が一丸となって、地域と家庭の支援を得ながら、金銭教育の研究・実践に取り組んでいます。



安城産業文化公園デンパーク

安城中部小学校では、自分の意見を自由に発言し、相手の意見をしっかり聞き、尊重する「学び合い」の授業を大切にしており、金銭教育研究校としての各学年の取組みにおいても、児童と教師が「学び合い」の気持ちをもって学習を行いました。

例えば6年生は、修学旅行を前に内職を体験し、保護者が出してくれる修学旅行費用と同じ金額を働いて稼ぐことの大変さを実感したうえで、これを有意義に使うにはどのような旅行にするのが良いかを話し合いました。また、旅行中のお小遣の使い方についても考えを出し合い、計画を立てました。子どもたちは、こうした取組みの中で「お金は大切」、「お金を稼ぐのは大変」ということを身をもって感じるとともに、修学旅行中は、お小遣計画を見ながら「本当に必要か、本当に欲しいか」を考えて買い物をしていました。

これまでの取組みを通して、子どもたちには、「人やものを大切にする」、「すすんで働く」豊かな心が芽生えてきました。今後も「学び合い」を大切にしながら、子どもたちが良い人生、より良い社会を築く大人になるよう、金銭教育に取り組んでいきます。



安城中部小学校



学校行事「ふれあい会議」